



KONICA MINOLTA

News Release

血流計測を簡便に行える機能搭載の 超音波診断装置「SONIMAGE HS2」「SNIABLE2」を発売 ～Vascular NAVI機能の搭載で透析市場へ本格参入～

2020年2月13日

コニカミノルタ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：山名 昌衛、以下 コニカミノルタ）は、超音波診断装置「SONIMAGE(ソニマージュ) HS2」（以下 HS2）と、その整形外科用モデルである「SNIABLE(スナイブル)2」を発売いたしました。

今回発売したHS2は、高精細画像と直感的な操作性で国内整形外科市場において高シェアを獲得している超音波診断装置「SONIMAGE HS1」（以下 HS1）の後継機種で、CPU性能の向上やメモリ容量の増加などにより操作レスポンスを大幅に改善するとともに、血流計測を簡便に行える機能を搭載しました。

近年の高齢化社会に伴い、腎不全の患者数が増加傾向にあり、その治療のひとつである人工透析を受ける患者数も増加し続けています。一方、透析治療の大半を占める血液透析の現場においては、血管の状態や血流を確認するために超音波診断装置が有用です。コニカミノルタは、HS2により透析市場への本格参入を図り、血液透析における安心安全な治療と作業効率の向上に貢献してまいります。

加えて、操作レスポンスが向上した「SNIABLE2」により整形外科領域でもさらに存在感を発揮し、ベッドサイドで検査や処置を行うPoint of Careと呼ばれる領域に超音波診断装置で新たな価値を提供することで、ヘルスケア事業の拡大を図ります。

【 HS2とSNIABLE2が提供する価値 】

1. 透析患者へのより安心安全な診療をサポート^{※1}

一般的な血液透析の治療では、透析に必要な血液流量を確保するために、動脈と静脈を繋いでシャントと呼ばれるバイパスを作ります。このシャントを良好な状態に保つために、超音波診断装置を用いてシャントの血流量や形態を確認し、維持管理する医療機関が増えています。

HS2は、この血流計測のために調整が必要な、ステア角度、ポジション、サンプル幅、角度補正の4つの項目^{※2}を瞬時に自動調整できるVascular NAVI機能を搭載しました。さらに、血流量算出に必要な血管径の計測も、血管壁などの検出が可能となる自動検出アシスト機能で簡単に行うことができます。

これらの機能によりシャントの維持管理が容易になり、透析患者へのより安心安全な治療に寄与します。また、頸動脈検査といった血管系検査においても作業効率の向上に貢献します。



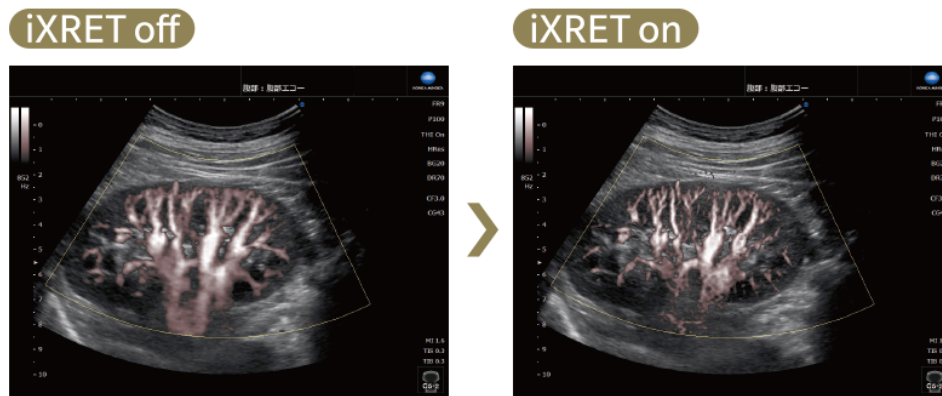
SONIMAGE HS2



2. 診断価値の高い画像の提供で的確な診療をサポート

2014年発売のHS1は、太さ数十～数百ミクロン程度の筋束や神経束の繊維構造まで鮮明に見える高精細画像と直感的な操作性で、整形外科領域、麻酔科領域を中心に高い評価を受けております。この度発売したHS2では、HS1のテクノロジーを継承しながら、さらに2つの独自技術を投入し、様々な条件下での分解能を高めました。高精細で診断価値の高い画像の提供により、的確な診療をサポートします。

投入した画像処理技術のひとつはiXRET(イクスレット)で、これにより、フレームレートを上げても分解能を落とさずに画像を表示することができます。



ふたつ目は、2種類の超音波ビームを使うことで音響ノイズを抑制し伝達効率を向上させるDual Sonic画像処理技術で、浅い部分と深い部分いずれにおいても従来より高い分解能を実現し、解像度を向上させています。

また、心臓検査時などに肋間からアプローチしやすい形状のセクタプローブS4-2Aを新たに追加しました^{※3}。S4-2Aは、高画質を保ちながら生体接触面積が従来品よりも約3割小型化され、持ち手の部分にもくびれを作ることによって回転操作がし易くなりました。



3. デジタル面での機能向上でさらに使いやすく効率的な診療をサポート

大きな操作ボタンと直感的に操作できるタッチパネルなど、従来のシンプルなユーザーインターフェイスに加えて、デジタル面での機能向上を図りさらに使いやすくなりました。

高パフォーマンスCPUの採用により、リアル動画と一時静止画の切り替えや、静止画の保存にかかる時間など、各種レスポンスタイムがHS1の半分～1/3程度に短縮されました。また、システムメモリ容量と画像保存領域もHS1の2倍に拡大するなど、よりストレスの少ない操作性を提供し、効率的な診療をサポートします。

さらに、動画や静止画を外部記録デバイスへ直接保存できるダイレクトレコーディング機能を新たに搭載しました。研究目的やセミナーなどで利用したい画像データのマネジメントに効果を発揮します。

【 超音波診断装置「SONIMAGE HS2」「SNIABLE2」の主な仕様 】

モニター	15インチ
電源	AC 100-240 V、50/60 Hz、最大180 VA (本体のみ)
サイズ ^{※4}	W370 mm × D452 mm × H90 mm
重量	約7.9 kg (本体のみ、バッテリー含む)
バッテリー動作時間 ^{※5}	約60分

【 標準小売価格 】

名称	価格（税別）
SONIMAGE HS2	30,000,000 円（本体）
SNiBLE2	30,000,000 円（本体）

各種プローブ、カート、オプションは別料金となります。

【 お客様のお問い合わせ先 】

コニカミノルタジャパン株式会社

TEL:03-6324-1080 <http://konicaminolta.jp/healthcare/>

※1 : SNiBLE2ではオプション機能となります。

※2 : ステア角度、ポジション、サンプル幅、角度補正は、いずれも血管に超音波を当てて的確に反射させるために必要な調整項目。

※3 : プローブは本体とは別売りです。

※4 : 本体の突起物を含まず、モニターを閉じた状態。

※5 : 満充電状態でフリーズ時。

SONIMAGE、SNiBLE、Dual Sonicはコニカミノルタ株式会社の商標または登録商標です。

超音波診断装置SONIMAGE HS2（認証番号：第301ABBZX00053000号）

（SNiBLE2は、超音波診断装置 SONIMAGE HS2 の呼称です。）

セクタプローブ S4-2A（認証番号 第301ABBZX00054000号）

報道関係お問い合わせ先

コニカミノルタ株式会社 コーポレートコミュニケーション室 TEL : 03-6250-2100